



小樽双葉進路だより

特進版

進路指導部

令和6年10月10日

第6号 発行

大学入学共通テスト100日前！ その1

本日で、3年生が受験する大学入学共通テスト100日前となりました。3ヶ月とちょっとということです。3年生に、この100日の過ごし方のポイントをお伝えします！東進予備校のサイト(<https://www.toshintimes.com/topics/detail/99>)と武田塾のサイト(<https://www.takeda.tv/furuichi/blog/post-204141/>)の記事を紹介します。記事は、学力面と生活面の2つあります。今日はまず、学力面から行きましょう！

【学力面①】現役生は、まだまだ得点が伸びる！（東進予備校の記事より）

受験生は、あと100日弱でどれくらい成績が伸びるのだろうか？

昨年度受験に挑んだ現役の先輩たちの秋から入試本番までの成績の伸びを紹介する(資料1)。

国公立大受験のうち文系の生徒は、秋から入試本番までに45・1点伸ばしている。点数の内訳で、地歴公民が30・9%の一番の伸びとなり、選択科目の理科基礎と合計すると52・0%を占めた。理系の生徒では秋から入試本番までに41・9点伸ばしている。国語の伸びが一番で27・2%、続く理科は26・3%という結果だった。

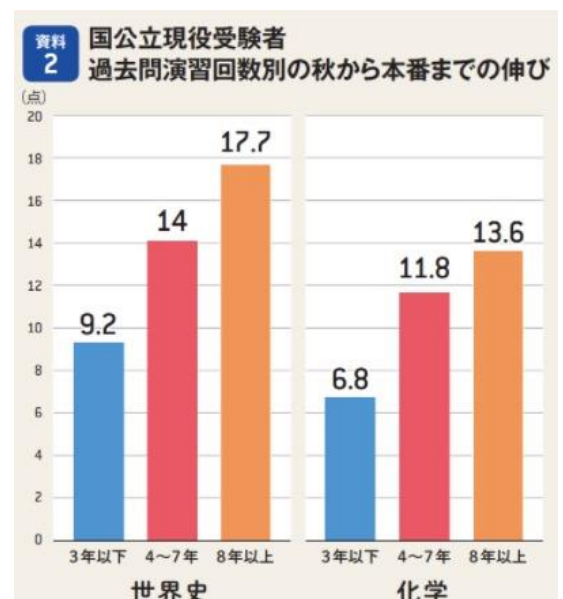
以上から、選択科目であれば、文系は地歴公民、理系は理科が今後の得点の底上げとなる科目と言えるだろう。また、主要科目のなかでは国語が得点の伸びが一番大きい。古文単語や漢文の句形など、抜けがないかしっかり確認しよう。もちろん、苦手科目や対策が不十分な科目は、これから得点を伸ばすチャンスだ。曖昧な知識をなくせるよう、一気に見直そう。



ポイントを絞った学習で「質と量」を高める！

資料1では、秋以降の学習で、文理ともに選択科目の得点がまだまだ伸びていることが明らかになった。そこで、国公立大現役受験者の過去問演習の実施回数によってどれくらい伸びに相関があるのか調べてみた(資料2)。

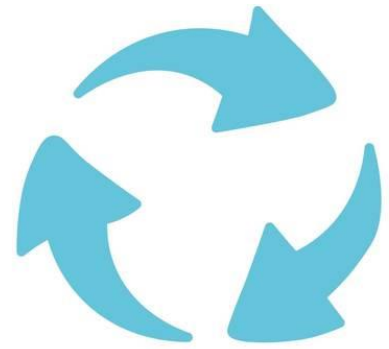
同じ現役生の中でも、過去問演習の回数が多いほど、本番の点数が伸びていることがわかる。けっして大きな差ではないが、入試の世界ではたった1点が合否を左右する。学習の「質」を高めるため、過去問演習はもちろん、苦手分野の知識の徹底修得に加えて、出題範囲の修了がまだの場合は並行して行うこと。



【学力面②】オススメ勉強法その1「**できなかった問題の繰り返し学習**」(武田塾の記事より)

共通テスト対策のオススメ勉強法は、「できなかった問題の繰り返し学習」です。「知っていれば答えられる」問題をなるべく増やしておくために、知識問題を繰り返し解いておきましょう！何度も間違ってしまう問題は、付せんなどをつけて、本番までに定着できるように繰り返しましょう！

また、この方法はインプット型の学習だけでなく、共通テストの実戦形式問題集や模試の復習にも活用できます。できる問題とできない問題を自分の中で客観視できることは試験に臨むうえでかなり重要です。この見極めが後に述べる時間配分に影響してきます！いまはとにかく基礎力に穴がないか問題などを通して再確認し、そので
きなかった問題を繰り返し学習していきましょう！！



【学力面③】オススメ勉強法その2～**共通テストの時間配分**が得点のカギ！

基礎的な問題が多いとはいえ、どの科目も問題量が多い共通テスト。特に**英語**や**数学**は、問題量の割に解答時間が短く、解き終わらずにタイムオーバーとなってしまう可能性も。

英語を例に挙げると・・・、

英語はリーディングは80分の試験時間に対して、大問は①～⑥まであります。特に⑤、⑥の長文問題は他の問題にくらべて配点が高いです。①からじっくり解きすぎると、最後の長文を読めず、悲惨な結果になる人が多くいます。英語で時間設定をするうえで大切なことは**“余裕のある時間配分をする”**ということです。具体的にいうと、80分ではなく65～70分ですべて解くようにしましょう。なぜ時間が余るようにするかというと、この時間の余りが解き終わったあとに見直しができる時間となり、余りがある分、各問で設定している時間をちょっとオーバーしてもいいという余裕が生まれるからです。

また、前にも述べたように何ができる問題で何ができない問題なのか、見極めたうえで試験に臨みましょう！

例えば、国語に関して小説が得意だという人は、セオリー通り漢文から解くのではなく、小説から解いたりなどして自分なりの解く順番を決めたりして、上に述べた見極めを活用しましょう！！1問1問考え込んでしまうようだと、確実に時間が足りなくなるので、この時期は時間を計って、時間内にリズムよく解く練習をしておきましょう！

